

令和6年度 浜松市国語科研究部 第1回研修会 報告

1 日時 令和6年5月22日(水) 15時～16時30分

2 場所

1ブロック 浜松市立北部中学校 2ブロック 浜松市立江南中学校

3ブロック 浜松市立北浜中学校 4ブロック 浜松市立庄内学園

3 運営方法

2ブロックの会場である、浜松市立江南中学校と各ブロック会場を meet でつなぎ、顧問校長挨拶、研究概要説明、講義をリモートで行った。その後のグループ協議は、ブロック長進行のもと、各会場で行った。

4 内容

- (1) 顧問校長挨拶 浜松市立細江中学校長 遠藤 健司 先生
- (2) 今年度の研究概要説明 国語部長
- (3) 講義 浜松市教育センター指導主事 松本 真美子 先生
- (4) グループ協議



5 成果と課題

- リモート開催前は、4つあるブロックのうち、1つのブロック会場でしか話を聞けなかったが、リモート開催を取り入れたことで、会場が別々でも全てのブロックで講義を受けることができた。研修概要説明や講義は、リモート開催が有意義だと感じた。
- ブロックごとの会場に集まってリモート開催をしたため、グループ協議を行うことができた。各自の実践紹介や、研究テーマに沿った実践計画等を話し合うことができ、対面研修の良さを実感した。

- ▲ リモートでの講義の際、参加者の手元に講義の抜粋資料しかなく、詳細は画面のみだったため、分かりにくいという意見が挙げられた。今後、リモートで研修を行う際には、講師から、画面に提示されるものと同じ資料を提供していただいたり、スライドと共に講師の表情が映し出される形で行ったりするなど、受講者にとって分かりやすい環境を整えたい。

